

園芸産地の確立に向け地域の機関と継続的な関係構築

福井県の園芸産地である三里浜砂丘地の円滑かつ効率的な園芸振興を推進する三里浜砂丘地営農推進協議会との新規就農者の確保及び育成の継続的な推進

○ 施策分類

新規就農、その他（生産振興・技術対策）

○ きっかけ・背景、課題の把握

三里浜砂丘地営農推進協議会（以下「協議会」という。）は、以下の取り組みを行い新規就農者の育成、確保に大きな実績を残している。

- ①「ふくい園芸カレッジ」^{（注1）}の受講生等へ就農に向けたヒアリングを実施し、就農計画の策定、実行への寄り添い支援
- ②就農後、定期訪問してのお困りごと相談を実施
- ③国の事業を活用して新規就農者への資金給付や耐候性ハウスを建設し新規就農者にリースする事業を実施

注1：福井県が設置した園芸分野での就農を支援する農業教育機関

○ 取組の内容

福井県拠点は、令和6年5月開催の協議会にオブザーバー参加し、新規就農関係の施策や事業を説明するなど取り組みを支援しつつ、北陸農政局等へ新規就農の優良事例として紹介するなど協議会と連携し砂丘地の魅力を発信

また、9月に県拠点でインターンシップ生を受け入れ、協議会や新規就農者のハウス等への体験及び新規就農者や特徴のある農業者との意見交換を実施

○ 効果・成果、今後の方向性

協議会での新規就農は、H25～R6の12年間で40名の実績。今後も協議会へ積極的に関与し、関係機関等へ新規就農の優良な取組として伝える。



協議会事業の説明会



新規就農者への施設見学

体制図

